

寒川浄水場のあらまし

寒川浄水場の水源である相模川は、その源を富士山麓に発し、山梨県の桂川を経て神奈川県に入り相模川と名称を変え、途中支流である道志川や中津川と合流して相模湾に注いでいます。寒川浄水場は相模川の河口から約 6.5km の左岸、寒川町宮山にあり、この地点に設置されている寒川取水堰から表流水を取り、浄水処理（凝集沈澱・ろ過・消毒）と水質管理を行い、安全な水を安定して供給しています。

昭和 38 年（1963 年）12 月に第 2 浄水場が、次いで昭和 46 年（1971 年）7 月に第 3 浄水場が稼働しました。その後、昭和 59 年（1984 年）3 月、老朽化した第 1 浄水場を廃止し、昭和 59 年度から昭和 62 年度にかけて第 3 浄水場の浄水能力の増強を図る改造事業を実施し、浄水能力は日量 750,000m³となりました。

創設当時は、1 日最大送水量約 560m³、給水人口 4,015 人の規模であった浄水場が、平成 14 年 3 月 31 日現在で 1 日最大送水量 714,230m³（平成 10 年 7 月 8 日 過去最大）給水区域で 11 市 4 町、給水人口にして 1,114,877 人となっています。

浄水場工程図

